

2019年項目別学校評価

教育理念・目標・人材育成像

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題点	改善方策・意見	参考書・備考
理念・目的・育成人材像は、定められているか	<ul style="list-style-type: none"> ■理念に沿った目的・育成人材像になっているか ■理念等は文書化するなど明確に定めているか ■理念等において専門分野の特性は明確になっているか ■理念等に応じた課程を設置しているか ■理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか ■理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか ■理念等の浸透度を確認しているか ■理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の校訓「自立・協輪・創造」のもと、理念等の通知については、日常の授業はもとより、学生の全体集会や学生の手引き、各種学校行事などを通して行っている。 ・理念等は、学生の手引きや入学案内等に明記され理念に応じた課程を設置している。 ・本校では国際社会に出て戦力になる学生を育成する教育目標を定め、社会で通じる語学知識がマスターできるように教育課程が組まれている。 ・理念等の学外への周知については十分浸透しているとはいえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念等の見直しは年度末の評価委員会で行い、改善に努めている。 ・内容については長期の取り組みを必要とする項目が多い。 ・理念等の達成に向けた特色ある教育活動を行うにあたって各方面に周知し、また、意見を聞く機会も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の理念や目的を実現するために、教職員がそれらを共通理解し、各自の業務分担を通して、実現に向けて組織としての共通行動を起こす。 ・適切な情報公開を行い、地域社会や関係業界などから各種の評価を受け改善に活かす。 	

<p>語学学校としての育成人材像は、関連する教育機関等の人材ニーズに適合しているか</p>	<p>■学科・クラス毎に、関連業界（進学先）等が求める語学力・知識・人間性等人材要件を明確にしているか</p> <p>■教育課程・授業計画（シラバス）等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか</p> <p>■専任・兼任（非常勤）にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか</p> <p>■教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育成人材像は入試案内や学生の手引き等に明記されている。 ・ 教育課程。授業計画などの策定や教員採用において関連業界等からの協力は得ている。 ・ 教材等の開発においては関連業界からの協力は得ていない。 ・ 学生一人ひとりに教育上必要な設備を用意して効果的な教育活動を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の育成に関しては各方面からの情報を収集して効果的に活用するようにしているが、時には業界や社会のニーズに適応できない学生がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収集した情報の集約方法や教職員への周知方法を工夫して共通認識を深める。 	
<p>理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか</p>	<p>■理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか</p> <p>■特色ある進学の為の実践教育に取り組んでいるか</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各検定対策講座に取り組んで上位級以上の取得を目指している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各検定対策講座への学生参加は積極的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他校の特色ある教育活動の研究推進 	

<p>国際社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか</p>	<p>■中期的（3～5年程度）な視点で、学校の将来構想を定めているか ■学校の将来構想を教職員に周知しているか ■学校の将来構想を学生・保護者に周知しているか</p>	<p>A</p>	<p>・学内の環境整備など、学生の入学希望者の増加に伴い、今後の将来構想を構築する。</p>	<p>・法人部に於いて定期的に点検を行い環境整備に努めている。</p>		
----------------------------------	---	----------	--	-------------------------------------	--	--

学校運営

<p>目的に沿った運営方針を定めているか</p>	<p>■運営方針を文書化するなど明確に定めているか ■運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか ■運営方針を教職員等に周知しているか ■運営方針の組織内の浸透度を確認しているか</p>	<p>A</p>	<p>・年度ごとの運営方針は本校の理念等や事業計画、関連業界や社会的な動向等を踏まえ、法人部での協議を経て教職員会議で校長が口頭にて周知している。 ・兼任教員も含めた全教職員が参加する年1回の全体会議において、校長は運営方針等を指示連絡し、共通理解を図っている。 ・定例の教職員会議においても、適宜、校長が指示連絡している。</p>	<p>運営方針の組織内の浸透については、教職員の自己申告。</p>	<p>運営方針作成に当たり役員会議や職員会議での協議する機会を設ける。</p>	<p>職員会議資料</p>
<p>学則・細則・内規整備されているか</p>	<p>■法人部会、役職委員会は学則等に基づき適切に開催しているか ■理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか</p>	<p>A</p>	<p>・部会及び委員会は定期的に開催している。 ・理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成している。</p>	<p>・教職員に適切な情報を適宜周知する。</p>	<p>・本校の法人委員・役職級職員、及び教職員間における情報交換を密に行う。</p>	

	<p>■学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか</p> <p>■現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか</p> <p>■各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか</p> <p>■会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか</p> <p>■会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか</p> <p>■組織運営のための規則・規程等を整備しているか</p> <p>■規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか</p> <p>■本校への組織運営に携る事務職員の意欲・資質の向上への取組みを行っているか</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に必要な校務分掌は整備している。 ・設置している委員会、各部署の役割分担、組織目標等は規程等で明確にしている。 ・会議、委員会等の決定権限、委員構成等も規程等で明確にしている。 ・会議、委員会等の記録は、開催ごとに作成している。 ・組織運営のための規則や規程等は整備している。 ・規則や規程等の新設や改訂では、本学の担当部署を経て適正に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な業務を行うためには、常に分掌組織の見直しを行う必要がある。 ・教職員全体が組織運営に携わりさらに工夫・改善する。 		<p>学則等</p>
--	---	--	---	--	--	------------

<p>人事・給与に関する制度を整備しているか</p>	<p>■採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか</p> <p>■適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか</p> <p>■給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか</p> <p>■昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか</p> <p>■人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか</p>	<p>B</p>	<p>・専任教員の採用については本学院本部が所管し、関係法令を遵守した上で定められた教員数を確保している。事務職員の採用も同様である。</p> <p>・昇進・昇給は上席トウの推薦により、法人部の人事・給与委員会において承認している。</p> <p>・関係規程等は整備している。</p>	<p>・人事・給与制度に関する規程は設置しているが、円滑な実施については検証が必要である。</p>	<p>・昇進・昇給制度に基づき、公正な昇進・昇給の実施が必要である。</p>	<p>給与規定等</p>
<p>意思決定システムを整備しているか</p>	<p>■教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか</p> <p>■意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか</p> <p>■意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか</p>	<p>A</p>	<p>・本学院では、法人部会及び役職員会において意思決定している。案件により、本学院の随時開催する委員会でも行っている。</p> <p>・校内では運営委員会や各種委員会、担当者会等からの提案に基づき、教職員会議で行っている。</p> <p>・意思決定の組織図を作成している。</p>	<p>・中期計画の作成等、懸案事項に対処する委員会等が有効に設置されていない。</p> <p>・担当分掌と他の教職員との間での、情報を共有する必要がある。</p>	<p>・担当分掌で前年度の総括を行い、全教職員から新規企画に関する提案を募るなどの手順を取り入れる。</p>	<p>役員会資料 職員会議資料</p>

<p>情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか</p>	<p>■学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか</p> <p>■これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか</p> <p>■学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか</p> <p>■データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか</p> <p>■システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員に専用のPCを配備している。 ・本学園内及び本校内LAN、本学園内共有フォルダー、本校内共有フォルダーのネットワーク化、会計システムや学費管理システム、学籍管理システム等を導入している。 ・卒業生の進学先・動向管理等を行っている。 ・業務効率の向上やより迅速な情報提供、意思決定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企画の立ち上げや、さらなるスピードアップと安全性を確保する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生情報管理システムに関する研究をより進める。 	
-----------------------------------	--	----------	--	--	--	--

教育活動

<p>理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか</p>	<p>■教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか</p> <p>■進学教育に関する方</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令等を遵守し、本校の教育理念に沿った教育課程を教育規定・教育基準に編成している。 ・編成方針等は学生資料に明示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生としてのマナーの定着・向上等の指導が必要である。 ・編成方針、進学教育については、文書化は 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令等を遵守し、本校の教育理念に沿った教育課程を教育規定・教育基準に編成している。 	<p>職員会議資料等 学生の手引き</p>
-------------------------------------	---	----------	--	--	--	---------------------------

	針を定めているか		・進学教育に関する方針は学生資料に明示されている	されているが十分に周知されているとは言えない		
学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか ■教育到達レベルは、理念等に適合しているか ■資格取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得に沿った目標を定め修業年次に合わせたレベルを設定している。 ・明確な教育到達レベルはシラバスに併記され又、学則の「学習の評価、修了の認定及び卒業」に規定され又、理念に適合している。 <p>資格に関しては、学生への周知及び学校での開催、お祝い金の贈呈など支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における知識の習得には個人差があり、個別指導が必要な学生がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果のある個別指導の具体策を検討する。 	各教科シラバス 学則
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか ■議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか ■修了に係る授業時数、単位数を明示しているか ■授業科目の目標に照 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・シラバスを設定し明文化している。 ・編成体制は、規定等で明確化されていないが、教務会にて決定されている。 ・議事録は作成されている。 ・卒業に係る授業時数、単位数は学則に明示されている。 ・授業科目の内容を考慮し、講義・演習等の適切な授業形態を選択してい 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力に劣る学生がいる、また留学生としての常識となる意欲に欠ける者がいる。 ・定期的に教育課程の見直し、改定について話し合う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会で授業改善の研究を進める。 ・教務会議を定期的に行い、授業の検討、見直し、改定の機会を作る。 	

	<p>らし、適切な教育内容を提供しているか</p> <p>■授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか</p> <p>■授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか</p> <p>■授業科目について、授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか</p> <p>■教育課程は定期的に見直し改定を行っているか</p>		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫については個々の教師の判断に任せている。 ・シラバスは作成されている。 			
<p>教育課程について、外部の意見を反映しているか</p>	<p>■教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>■教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等が求める資格取得については担任と担当教員が連携した指導体制を整えている。 ・「進路」等の授業の中で、個別指導、就職活動支援を実施している。 ・教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価は行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育課程及び職業実践教育に関する在校生・卒業生や関係業界からの意見聴取や評価の機会が少ない。 ・教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も合格率が上がるようにより一層体制を整備していく。 ・教育課程の編成及び改定において、アンケート等により在校生・卒業生の意見聴取や評価を行う。 	

	るか		<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価は行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> や評価を行う必要がある。 ・教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行う。 	
授業評価を実施しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■授業評価を実施する体制を整備しているか ■学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか ■授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか ■教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対するアンケート等の実施など、授業評価は行っていない。 ・授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートの分析結果の活用について、方針が定まっていない。 ・アンケートの実施など、授業評価を行う必要がある。 ・授業評価結果を教員にフィードバックする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価の学生アンケートを実施する。 ・関連業界等との協力体制を築く。 ・アンケート等により作成した授業評価結果を授業改善に活用する為、教員にフィードバックする。 	
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の基準については学則、履修規定により明確化されている。 ・成績評価の基準を適切に運用するため、会議等の開催は十分とはいえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の基準を学生等に周知する必要がある。 ・成績評価の基準を適切に運用するための 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価の基準を試験前など適時、学生に周知する必要がある。 ・成績評価の基準を適切に運用する為の会 	職員会議資料等 学則

	<p>■成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか</p> <p>■入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか</p>			<p>会議を開くなど客観性・統一性の確保に取り組む必要がある。</p>	<p>議各教科で開き客観性・統一性の確保に取り組む</p>	
<p>目標とする資格は、教育課程上で、明確に位置づけているか</p>	<p>■取得目標としている資格の内容・取得の意義について明確にしているか</p> <p>■資格の取得に関連する授業の内容、特別講義の開設等について明確にしているか</p>	A	<p>・取得目標としている各種検定についての内容・取得の意義について授業等で学生に周知している。</p> <p>・日本語能力検定の特別講義を開設し、授業等で学生に周知している。</p>	<p>・現状より様々な検定受験者を増やしたい。</p>	<p>・年一回、全員参加で日本語検定受験を行うなど、受験者、講座参加者を増やす対策をとる。</p>	
<p>資格取得の指導体制はあるか</p>	<p>■資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか</p> <p>■不合格者及び卒業後の指導体制を整備しているか</p>	A	<p>・学生全員が卒業に必要な単位を取得できるよう、担当教員は丁寧な指導に努めている。</p> <p>・規程により、定期試験以外に追試験や再試験の制度を設けている。</p> <p>・留学生には担任を通して指導を強化している。</p> <p>・各種検定の特別講座を、授業内で対策</p>	<p>・留学生の場合、残念ながら出席時数不足や点数不足で不認定となり、退学する学生がいる。</p> <p>・卒業後の指導体制を整備する必要がある。</p>	<p>・全教員が学生の学習態度や欠席時数、実習の状況等を共有し、早期の指導に努める。</p> <p>・卒業後も希望すれば各種検定の特別講座を受講できる等、卒業生との関係を築ける施策</p>	

			<p>等を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不合格者への対応は授業等で行われるが、卒業後の対応は行われていない 		<p>をおこなう。</p>	
<p>資格・要件を備えた教員を確保しているか</p>	<p>■授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか</p> <p>■授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか</p> <p>■教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか</p> <p>■教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか</p> <p>■教員の採用計画・配置計画を定めているか</p> <p>■専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか</p> <p>■教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・時間割や出席簿、授業実施報告書等により教員の授業時数、学生数等を把握している。 ・採用担当サイドでは能力・資質等を把握している。 ・必要な資格等は確認している。 ・授業科目に沿った人選を行っており、知識、技術レベルは適合している。 ・教員採用等人材確保において、ハローワーク等関連業界等と連携している。 ・教員の募集、採用手続、昇格措置等について就業規則で定めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示する必要がある。 ・教員一人当たりの授業時数、学生数等を適正化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示する。 	

	<p>■教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか</p>				
<p>教員の資質向上への取組みを行っているか</p>	<p>■教員の専門性、教授力を把握・評価しているか</p> <p>■教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか</p> <p>■関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか</p> <p>■教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の専門性は把握できているが、教授力は十分把握できているとは言えない。 ・教員の資質向上のための研修計画は定められていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の内容の検討や講師の確保に時間を要する。 ・教授力を把握する為の施策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も授業内容に適した研修が行われるよう幅広い観点から検証し推進していく。
<p>教員の組織体制を整備しているか</p>	<p>■授業内容毎に必要な教員体制を整備しているか</p> <p>■教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか</p> <p>■授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか</p> <p>■授業内容・教育方法の改善に関する組織的</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・法令等で定めた定員を確保している。 ・分野毎に必要な教員体制を整備している。 ・教員組織における業務分担・責任体制は、校務分掌で定めている。 ・クラス毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制は現在十分とは言えない。 ・授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組は十分とは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する法令等を厳守する。 ・クラス毎の授業科目担当教員間で連携・協力体制を作る必要がある。 ・授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に関係する法令等を確認し、遺漏のないようにする。 ・校務分掌組織の見直しと改善を毎年行う。

	な取組があるか ■専任・兼任（非常勤） 教員間の連携・協力体制を構築しているか					
--	---	--	--	--	--	--

教育成果

進学率の向上が図られているか	■進学率に関する目標設定はあるか ■学生の進学活動を把握しているか ■希望する専門分野と関連する大学等への進学状況を把握しているか ■関連する学校等と共催で「進学セミナー」を行うなど、進学に関し関連業界等と連携しているか ■進学率等のデータについて適切に管理しているか	A	・進学率の向上は日本語学校の使命の一つであるため。一人でも多くの大学進学を目指している。 ・進路担当間、進路担当と学級担任とで連絡を密に取り合っており、学生の進学活動状況を把握している。	・学生の進学に対する考えに厳しさが足りないため、活動に対する動きが鈍い。 ・関係する学校・企業と連携し、学校を招いた進学説明会を開催していく。	・大学等へ働きかけ、本校を知ってもらうとともに指定校数を増やしている。 ・学校説明会などの情報を学生に多く提供し、積極的に参加するよう推し進めている。	・大学一覧
資格取得率の向上が図られているか	■資格・免許取得率に関する目標設定はあるか ■特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取組はあ	B	・EJU や日本語能力試験合格（N2 相当）を入学者全員の卒業までの目標としている。 ・在学中に受けられる資格試験は受けさせる。	・退学処分になる学生が毎年一定数存在する。 ・学生が進学活動を開始する時期が遅い。	・入学動機や学習意欲、生活面、経済面等で多様な学生が入学しているので、個々の学生の状況に応じて早めに改善を図る対	

	<p>るか</p> <p>■合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか</p> <p>■指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか</p>				策を検討する。	
<p>退学率の低減が図られているか</p>	<p>■中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか</p> <p>■指導経過記録を適切に保存しているか</p> <p>■中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか</p> <p>■退学に結びつきやすい心理面、学習面での特別指導体制はあるか</p>	B	<p>・中途退学の要因として、主にオーバーワークによるビザの更新が不許可になった学生、ビザ更新後に働くことを主にしてしまった学生である。</p> <p>・担任と教務が一丸となり退学防止に努めている。</p> <p>・毎日の出席状況を管理し、欠席が続いた時には、学生に連絡をいれる。</p>	<p>・学生と連絡が取れなくなることがある。</p> <p>・学生の実態把握には時間を要する。</p>	<p>・場合によっては、アルバイト先に連絡確認する。</p> <p>・欠席学生の欠席状況がわかるクラスメートが必要。</p>	<p>・アルバイト先確認書</p>
<p>卒業生の社会的評価を把握しているか</p>	<p>■卒業生の進学先の大学・専門・機関等を訪問するなどして卒業後の実態を調査等で把握しているか</p> <p>■卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握</p>	B	<p>・進学先広報担当者が入学後や卒業後の状況確認を行っている。</p>	<p>・進学先が必要とする具体的なスキルの掌握をより細かくしていく。</p>	<p>・必要とするスキルを習得できる学習環境を整えていく。</p>	

	しているか					
卒業生への支援体制を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■同窓会を組織し、活動状況を把握しているか ■卒業後の相談に適切に対応しているか ■卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか ■卒業後の研究活動に対する支援を行っているか 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会は組織していない ・相談を受けた旧担任と進路担当の連絡を密にしている。 キャリアアップの為の講座は特に開講していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の入学後・帰国後の状況に関する情報収集に苦勞している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き卒業生の情報を収集するようにする。 	

学生支援

進路に関する支援組織体制を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■進学など進路支援のための組織体制を整備しているか ■担任教員と進路指導部門の連携など学内における連携体制を整備しているか ■学生の進学活動の状況を学内で共有しているか ■関連する業界等と進学に関する連携体制を構築しているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路担当教員が中心となって、各種業務を担当している。 ・担任は進路担当との情報交換を密に行い、協力して学生への個別指導や連絡に当たっている。 ・願書の書き方や面接の受け方などは進路の時間で計画的に行っている。 ・学生の個別の相談には、進路担当及び担任が個別相談に応じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員に頼りっきりの学生や進学意識の低い学生、受験姿勢に緊張感の足りない学生がいる。 ・合同説明会やセミナーに参加する学生にムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人情報を進路担当間で共有し、全体の学生に対応できるようにしている。 ・学生を進学説明会やセミナーに参加させることを推し進める。 ・空き教室の利用計画を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生オリエンテーション資料
----------------------	---	---	---	---	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ■進学説明会等を開催しているか ■願書の書き方、面接の受け方など具体的な進路指導に関するセミナー・講座を開講しているか ■進学・就職に関する個別の相談に適切に対応しているか 					
<p>学生相談に関する体制を整備しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか ■相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか ■学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか ■相談記録を適切に保存しているか ■関連医療機関等との連携はあるか ■卒業生からの相談について、適切に対応しているか 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が相談できるよう、担任が学生に対応できる時間を確保している。 ・卒業生からの相談については、元担任や進路担当が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談室は設置されているが、専任カウンセラーが配置されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専任カウンセラーの配置が必要になってくる。 ・ネット社会における加害・被害防止を周知し、事故防止に努める。 	

<p>学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか</p>	<p>■学校独自の奨学金制度を整備しているか</p> <p>■大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか</p> <p>■学費の減免、分割納付制度を整備しているか</p> <p>■公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか</p> <p>■全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか</p> <p>■全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校独自の奨学金はないが、災害時には延納等の対応を図る。 ・学費の一括払いが困難な場合は、分割・延納制度を通して支援している。 ・募集要項や学生資料に日本学生支援機構の奨学金制度や本校の減免制度を掲載し、周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由から授業料の分納・延納する学生が多く、経済的に厳しい環境に置かれた学生が多い。 ・授業料が未納のために中途退学する学生がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集においては学費の支払いに関する説明を十分に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項 ・学校案内
<p>学生の健康管理を行う体制を整備しているか</p>	<p>■学校保健計画を定めているか</p> <p>■学校医を選任しているか</p> <p>■保健室を整備し専門職員を配置しているか</p> <p>■定期健康診断を実施して記録を保存しているか</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室は整備されている。 ・毎年、4月と入学期に定期健康診断を行っている。 ・定期健康診断の結果を記録している。 ・結核菌保有者については、全員再検査等を学校職員引率の下行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室は整備されているが、養護教諭はいない。 ・結核菌保有者以外のその他の有所見者については、担任から再検査を受けるようにとの指導にとどまっ 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭の配置が必要。 ・有所見者のその後の再検査の結果等の確認が必要。 ・定期的に養護教諭等の専門職が健康相談に当たる体制を検討 	

	<p>るか</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 有所見者の再健診について適切に対応しているか ■ 健康に関する啓発及び教育を行っているか ■ 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか ■ 近隣の医療機関との連携はあるか 			<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康相談の体制がない。 	<p>する。</p>	
<p>課外活動に対する支援体制を整備しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか ■ 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか ■ 大会成績など実績を把握しているか 	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ活動は行っていない。 			
<p>保護者との連携体制を構築しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか ■ 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の各種の問題会解決にあたっては早期の段階で保護者等と連携し、来校・電話相談している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者と話し合う機会は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者等に入学式の案内と共に本校の学校生活の留意事項等を郵送し、指導上の方針を周知する。 	

<p>■学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか</p> <p>■緊急時の連絡体制を確保しているか</p>					
---	--	--	--	--	--

教育環境

<p>教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p>	<p>■施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか</p> <p>■図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか</p> <p>■図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか</p> <p>■学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか</p> <p>■施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか</p> <p>■手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準、関係法令には適合しているものの、一部、授業に支障のある設備になっているなどの問題点がある。 ・学生の学習支援のための施設を整備している。 ・図書室は整備されていない。 ・学生の休憩・食事のためのスペースは、十分とは言えないものの確保している。 ・バリアフリー化には取り組んでいるが、学校全体で見ると十分に取り組んでいるとは言えない。 ・卒業生には施設・設備を提供していない。 ・施設・設備等の日常点検、定期点検、については適切に行われているが、補修の必要な箇所が放置されていることがままある。 ・施設・設備等の改築・改修・更新計画は定められていないが、急激な学生の増加に伴った対応は取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合させるだけでなく、授業に支障がないよう充実させる必要がある。 ・十分な学生の休憩・食事のためのスペースを確保する必要がある。 ・既存の校舎も含めて施設・設備のバリアフリー化に取り組む必要がある。 ・卒業生にも施設・設備を提供する必要がある。 ・施設・設備等の補修については速やかに行われる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学生が同様に問題なく授業を受けることが出来るように設備を充実させる。 ・現状の校舎では十分に学生の休憩・食事のためのスペースを確保するのは難しいが、移転や屋上の活用等も含めて考える。 ・施設・設備等の補修については速やかに行わなければならない。 ・計画的な施設・設備等の改築・改修の計画を定めなければならない。 	
--	---	-----------------	---	--	--	--

	<p>■卒業生に施設・設備を提供しているか</p> <p>■施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか</p> <p>■施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか</p>			<p>・施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行する必要がある。</p>		
<p>学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</p>	<p>■学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか</p> <p>■学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか</p> <p>■関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか</p> <p>■学外実習について、成績評価基準を明確にしているか</p> <p>■学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか</p>	<p>C</p>	<p>・学外実習等について、行っていない。</p>			

	<p>■学外実習等の教育効果について確認しているか</p> <p>■学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか</p> <p>■卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか</p>					
<p>防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか</p>	<p>■学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか</p> <p>■施設・建物・設備の耐震化に対応しているか</p> <p>■防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか</p> <p>■防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか</p> <p>■備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底</p>	<p>A</p>	<p>・学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアル等は整備している。</p> <p>・防災（消防）訓練は定期に実施している、記録されている。</p> <p>・学生、教職員に防災教育・研修を行っている。</p>	<p>・防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行うだけでなく、法令の遵守が必要。</p> <p>・備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底する事が必要。</p>	<p>・消防法等の法令を遵守する。</p> <p>・防災（消防）訓練を定期的実施するだけでなく、記録を保存する。</p> <p>・備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底する。</p>	

	しているか ■学生、教職員に防災教育・研修を行っているか				
--	---------------------------------	--	--	--	--

学生の募集と受入

学生募集を適切かつ効果的に行っているか	■入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか ■日本語団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか ■志願者等からの入学相談に適切に対応しているか ■学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか ■広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか ■体験入学、等の実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入学試験は年3回実施されている ・入学願書は随時受付をしている。 ・入学相談の機会としては、オープンキャンパス、ネット説明会を随時開催し、電話相談、資料の発送等がある。 ・学校案内、HP への掲載内容は広報担当、HP 担当でチェックしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験生の増加に伴う入学願書のチェック体制の整備。 ・自主規制に関しては特に問題はない。 ・学校案内等に対して外部からの評価を聞く機会に欠ける。 ・参加しやすい日程の確保、参加意欲を喚起する新たなイベントの工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担を明確にする。 ・今後も自主規制を守った募集活動に勤める。 ・新企画の立ち上げを検討し参加者増員を図る。 	学校案内 募集要項
---------------------	---	----------	---	---	---	--------------

	<p>か</p> <p>■志願者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか</p>					
<p>入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</p>	<p>■入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか</p> <p>■入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか</p> <p>■入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか</p>	A	<p>・入学者選考に関する評価表等を策定している。</p> <p>・合否判定の原案は入試担当で作成し、入学選考試験には他教職員が参加する。</p> <p>・面接も重視している。</p>	<p>・適切な運用と見直しを行う。</p>	<p>・本校の教育方針及び求める人物像を踏まえつつ志願者の実態に対応できる選考基準等を研究する。</p>	<p>学則 募集要項</p>
<p>入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</p>	<p>■合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか</p> <p>■入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか</p> <p>■応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか</p> <p>■財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っている</p>	A	<p>・入学選考における入学者の傾向は把握し職員会議において各クラス担任が学生の様子を報告し情報を共有している。</p> <p>・予算編成及び補正予算において整合性を図っている。</p>	<p>・出席不足、成績不振者や退学者の減員に向けた予防的な対策が必要である。</p>	<p>過去の退学者等に関する各情報を分析し個別指導等で改善を組織的に進める。</p>	

	か					
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか ■学納金の水準を把握しているか ■学納金等徴収する金額はすべて明示しているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本学院本部の担当部署が算定し役員会で決定している。 ・地域性を考慮し募集要項により水準を把握している。 ・学則、募集要項及び HP に明示している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・算定内容の情報共有を図る。 	学則 募集要項
入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ■入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・入学期までに入学辞退の意思表示をした場合は入学金を除く学費を返還する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・志願者への情報提供を欠かさない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会等において周知を図る。 	

財務

学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか ■収入と支出はバランスがとれているか ■貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか ■事業活動収支計算書 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度の入学者は前年に比べて増加した。したがって収支は安定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者の定員確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は財務基盤の安定損なわない程度に教育設備の充実を図るために、安定的な入学者確保に更なる努力をする。 	過去3年間の資金収支計算書・消費収支計算書 財務分析表 中・長期計画
----------------------------	---	---	--	--	--	--

	<p>の当年度消費収支差額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備投資が過大になっていないか ■負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか 					
<p>学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■最近3年間の収支状況（事業活動収支・資金収支）による財務分析を行っているか ■最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか ■最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか ■キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ■教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度において、資金収支、事業活動収支及び貸借対照表の過去3年間を比較する財務分析表を作成し、役員会並びに理事会等に提示している。 ・施設設備に関する一定額を超える支出は、2社以上の見積もりを行い稟議書により承認をうけていることから、適正な支出額の把握に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務分析を細かくし経営判断の出来る資料作成に努める必要がある。 ・契約更新等を含め定期的に見直しコスト管理に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率性や収益性の判断が出来る資料作成に努める必要がある。 ・契約内容の精査及び契約更新時期の確認より、コスト管理に努める。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ■コスト管理を適切に行っているか ■収支の状況について自己評価しているか ■改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか 					
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ■予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか ■予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成等に関する規程に基づき予算編成の基本方針及び基本計画を作成し経理責任者、事務長、教務、総務の担当で予算編成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本学院全体の具体的な中・長期計画の策定が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校全教職員の意見を聴取し本学院本部が策定したうえで、役員会において決定する。 ・ネットワークを利用して全教職員に開示する。 	予算書 議事録
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ■予算の執行計画を策定しているか ■予算と決算に大きな乖離を生じていないか ■予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか ■予算規程、経理規程 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行計画は策定している ・突発的な支出による予算超過があった場合は、予算の流用または予備費の使用を経理担当者が事務長・理事長を経由して法人部承認を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への補正予算編成の開示が必要である。 		

	<p>を整備しているか</p> <p>■予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか</p>					
<p>財務公開体制を整備し、適切に運用しているか</p>	<p>■財務公開規程を整備し、適切に運用しているか</p> <p>■公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか</p> <p>■財務公開の実績を記録しているか</p> <p>■公開方法についてHPに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか</p>	B	<p>・書類閲覧規程を整備し財務帳票及び事業報告書を開示できる体制を整えている。</p>	<p>・HPにも事業報告書及び決算報告書公開し公開内容については引き続き検討が必要である。</p>	<p>・公開する書類の内容について検討し、積極的な公開に取り組む。</p>	<p>決算書 事業報告書</p>

法令等の遵守

<p>法令や日本語学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p>	<p>■関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか</p> <p>■学校運営に必要な規則・規程等を整備し、</p>	A	<p>・法令等を遵守し、適切な学校運営を行っている。</p> <p>・関係文書等の承認や届け出を適切に行っている。</p> <p>・セクハラ防止に関する規程、委員会、相談員を定めている。</p> <p>・教職員には会議等で、学生には学生</p>	<p>・監督官庁が定める法令等を遵守した学則や教育課程を作成し、各種文書の提出等は厳守している。</p> <p>・公文書の作成手順や管理等の体制を厳格に</p>	<p>・校務分掌と業務分担を明確にし、学院本部を交えた複数の担当者でチェックし合う組織機能を強化する。</p>	
---	---	----------	--	--	---	--

	<p>適切に運用しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> ■セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか ■教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか ■教職員学生に対し法令遵守に関する研修・教育を行っているか 		<p>便覧や集会等で周知している。</p>	<p>守る。</p>		
<p>学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか ■大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか ■学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学院として規程を定め、個人情報の保護に努めている。 ・パソコン上の各種データは、法人本部にて管理し、部署及び個人によってアクセス権限を規制している。 ・入学志願者出願時の個人情報の取扱いについては、募集要項に利用目的を明記していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生には個人情報の保護や人権の大切さを文書や集会を通して指導している。 ・個人情報の利用目的を募集要項等に明記する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員には、会議や研修会の折に、本学院が定める各種規程の周知や事故例を紹介し、事故防止に努める。 ・教職員に対する研修会の開催を検討する。 	

	を講じているか ■学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか					
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	■実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか ■実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか ■評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	B	・関係する規程や委員会を定め、文部科学省のガイドライン項目に沿って実施している。 ・評価結果は公開し、関係部署で改善に努めている。	・評価結果に基づいた学校改善への取組を進める。	・教職員に自己評価の必要性を周知する。	
自己評価結果を公表しているか	■評価結果を報告書に取りまとめているか ■評価結果ホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	C	・令和元年度現在、HPで公開していない。	・より多くの人の目に留まるHPの公開と工夫に努める。	・他校の例を参考に、担当で改善に努める。	

社会貢献

学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	■産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか ■企業や行政と連携した教育プログラムの開	A	・年間事業計画の中でボランティア活動を行っている。 ・共同研究や委託研究の実績はない。 ・委託事業は行っていない。 ・日本語検定への会場提供や卒業生の同窓会活動の活動場所の提供など	・公開講座は実施していない。 ・社会問題については学生には関係する授業で扱っているが、教職員の研修会は実施	・校務分掌で担当業務を明確にする。 ・教職員の研究意欲の向上を図る。 ・専門分野に関する公開講座の開設に向け	年間計画
------------------------------	---	---	---	--	--	------

	<p>発、共同研究の実績はあるか</p> <p>■国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか</p> <p>■学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか</p> <p>■地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか</p> <p>■環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか</p> <p>■学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか</p>		<p>がある。</p>	<p>していない。</p>	<p>て担当部署を決め、検討する。</p> <p>・本校が地域住民から信頼を得るためには、学生の活動する姿を地域社会に数多く見せる必要がある。</p>	
<p>学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか</p>	<p>■ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか</p> <p>■活動の窓口の設置など、組織的な支援体制</p>	<p>A</p>	<p>・地元の清掃活動に有志学生を参加させている。</p>	<p>・地域社会や関連業界等からのボランティアの募集案内については掲示板にて周知し、学生の判断で申し込んでいる。</p>	<p>・ボランティア活動実態が十分に把握できていない状況があるので、校務分掌を明確にする。</p>	

	を整備しているか ■ボランティアの活動実績を把握しているか ■ボランティアの活動実績を評価しているか ■ボランティアの活動結果を学内で共有しているか					
--	---	--	--	--	--	--

国際交流

国際交流に取り組んでいるか	■海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか ■海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか ■海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか ■留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか ■海外教育機関との人事交流、研修の実施な	A	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生向け HP あり(留学生受け入れのための情報発信) ・海外の日本語学校の教員・生徒対象の学校説明会開催(留学生受け入れのための情報発信) ・日本語能力試験受験の推奨(留学生の学習支援) 		<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭等で日本語スピーチコンテストを行う。優秀者は賞金あり。学生のモチベーション向上につながる。 	
---------------	---	---	--	--	---	--

	<p>ど、国際水準の教育力の確保に向け取り組んでいるか</p> <p>■留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか</p>					
--	--	--	--	--	--	--